

# 道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校  
校長室だより

## 馬を水辺に連れて行けても 水を飲ますことはできない

今年の夏は 7 月中旬頃から猛暑の日々が続きました。連日の報道では「危険な暑さ」という言葉もよく聞かれました。皆さんは暑い夏休みをどのように過ごしましたか。7 月はセミナー、8 月は信貴山での合宿講習、イングリッシュキャンプ、京大オープンキャンパスツアー、RYS など積極的に多くの人が取り組みました。また、お盆期間でも管理自習室で頑張っている人もたくさん見かけました。まだまだ厳しい暑さが続きます。また、夏の疲れがでる時期でもあります。まずは、自分の体調管理をしっかり行い、生活リズムを元に戻して欲しいと思います。

8 月の猛暑の中、連日熱戦が繰り広げられた夏の高校野球。今年は 100 回の記念大会ということで大いに盛り上がりました。TV 等で試合を観戦した人も多いと思います。都道府県の代表として故郷の期待を背負い、「優勝」を目指して必死で頑張る姿に感動する場面もたくさんありました。憧れの甲子園出場を果たした高校球児たちは、マスコミにも大きく取り上げられて華やかに映りますが、その裏には目標に向い必死に練習を積み重ねてきた頑張りがあつたはずです。この試練を乗り越えてきたのは、「勝ちたい」「甲子園に出場したい」という熱い思いがあつたからではないでしょうか。

この高校球児のように意欲を持って 2 学期を過ごして欲しいということで、一つのことわざを紹介します。「馬を水辺に連れて行けても水を飲ますことはできない」という言葉です。英国で生まれたことわざで “You can take a horse to the water, but you can't make him drink.” という英語表記になります。

馬に水を飲ませてあげようと思って水辺まで連れて行くことはできる。しかし、水を飲むか飲まないかは馬自身が決めることであり、無理矢理人が飲ませることができないということです。つまり、**周りの人がいろんな機会を与えて支援することはできるが、最終的にそれを実行するかどうかは本人のやる気次第である**という意味です。

学習も同じことがいえます。授業中に「しっかりと勉強しよう」「もっとできるようになりたい」という前向きな気持ちがないと、目の前に準備された水を飲まないのと同じで、先生から教えられたことが身につきません。それどころか、授業中にやる気がなければ、無理やり水を飲まされるのと同じで、わからない所がどんどん増えて勉強がいやになってきます。ぜひ、意欲を持って取り組むことで、出来る喜びや知る楽しさを感じて、様々な試練を乗り越えて行って欲しいと思います。

さて、2 学期は学校生活が充実する時期です。特に、3 年生と 5 年生は 10 月に海外に出かける大きな行事が控えています。出発までしっかりと準備をしてください。また、今年は 11 月にコーラスコンクールを実施します。いろいろな行事や取り組みを通して、素晴らしい仲間づくりをして欲しいと思います。そして、6 年生は進路の選択に向けての正念場を迎えています。あせることなく努力を継続してください。